

国際言語文化科目  
「理系国際言語文化コース」  
(Dコース)の紹介  
2021年度

国際言語文化センター

カーサ スタンレー  
中村典子



# 国際言語文化科目:理系国際言語文化 コース

## 基礎共通科目

登録〆切日に注意！4月7日ではありません

第1希望、第2希望を

3月30日(火)～4月2日(金)23:59までにWEB登録

## 理系国際言語文化コース(「理系国際」と表示)

定員30名 【希望者数が定員を超えると:コンピューター抽選】

⇒ 抽選から漏れた人は、第2希望の「基礎共通科目」となる

目的:理系学生の英語力強化、グローバルな視点の養成

- ・理系のための英語科目(ネイティブの先生の担当が多い)
- ・「世界のサイエンス事情I・II」
- ・文系学部学生が多い科目「国際理解」
- 「言語と文化」も受講できる



## D 理系国際言語文化コース科目表

＜卒業までに8科目16単位履修＞

『履修要項』参照

理系向けの【国際言語科目】の特長

・少人数制

・下記の全科目：定期試験は行わず、  
小テスト、課題や発表で評価

以下の科目より、

＜4単位以上選択必修＞



各科目：2単位

English for Science (前期)

Science Presentation (後期)

Science Writing (後期)

Science News I (前期)

Science News II (後期)

世界のサイエンス事情 I (前期)

世界のサイエンス事情 II (後期)

【国際文化科目】自由選択科目

国際理解 A・B・C・D・English

言語と文化 ドイツ I・II

言語と文化フランス I・II

言語と文化 中国 I・II

言語と文化 韓国 I・II

【基礎共通科目コースと共通】

導入共通科目：

＜2単位以上選択必修＞

甲南大学と平生鉢三郎 (2単位)

共通基礎演習 (2単位)

## English for Science (2 単位) (前期:金4)

- Reading and listening to mostly authentic materials (passages and videos) from Internet , etc.
- 理系英語や学術英語に必要な読解力、語彙力を磨きます。【担当:カーグ】

## Science Presentation (2単位) (後期:木3)

- Analysis of actual research presentations ; practice making poster and PP presentations about own research or a topic in science
- 基本的なプレゼンテーションの技術を磨きます。
- 科学用語の発音練習、モデルプレゼンテーションの視聴・分析、実際にパワーポイントでプレゼンテーションしてもらいます。 【担当:吉田桂子】

## Science Writing (2単位) (後期:金4)

Analyze actual models of scientific writing, practice basic academic writing techniques, write short academic research paper

理系のライティングに必要な知識を身につけます。  
収集したデータや結果をまとめて書く力を磨きます。

【担当:カーグ】

## Science News I & II (各2単位) (前期:水5) (後期:水5)

Recent developments, discoveries, and issues in science, both in Japan and other countries; comparison of Japanese science trends with those of other countries.

最近の科学における発見や発展、科学のさまざまな問題を扱い、国内と国外で、重視されている傾向などを比較します。【担当:ストリンガー】

## 国際言語科目のシラバス紹介 ③

### 世界のサイエンス事情 I・II (各2単位)

- ・世界の著名な理科系の大学・研究機関・研究所等について知る
- ・他国に住む人々の生活習慣や考え方について知る

#### I : 英語圏のサイエンス事情 (前期:木2)

英語での指示を聞いて、コンピューターの操作を行い、大学・研究機関等について調べます。

【担当: メーテンズ】

#### II: 主として英語圏以外のサイエンス事情 (後期 : 木2)

＜関西在住の理系の先生方、研究者がゲストスピーカー＞

海外の研究事情、学会発表などについて話を聞いて質問します。

研究調査等で、英語圏以外へ行く際の事情がわかります。

ゲストの先生方に、英語勉強法も聞けます。

【インドネシア・中国・チェコ・アメリカなど】

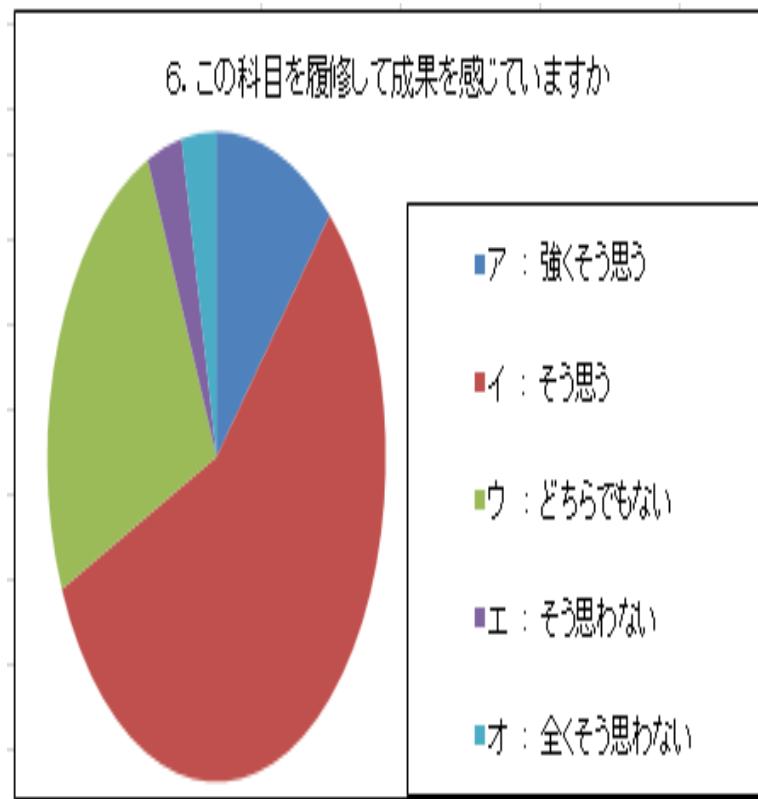
- ・ゲストスピーカーによる英語での講義が一部あり
- ・各自のプレゼンテーションも部分的に英語で行う

【担当 : 中村典子】

## 2019年度・2020年度 Dコースで学んだ皆さんの中の先輩たちのアンケート結果より 〈2020年:コロナ禍でアンケートの回収率が低下〉

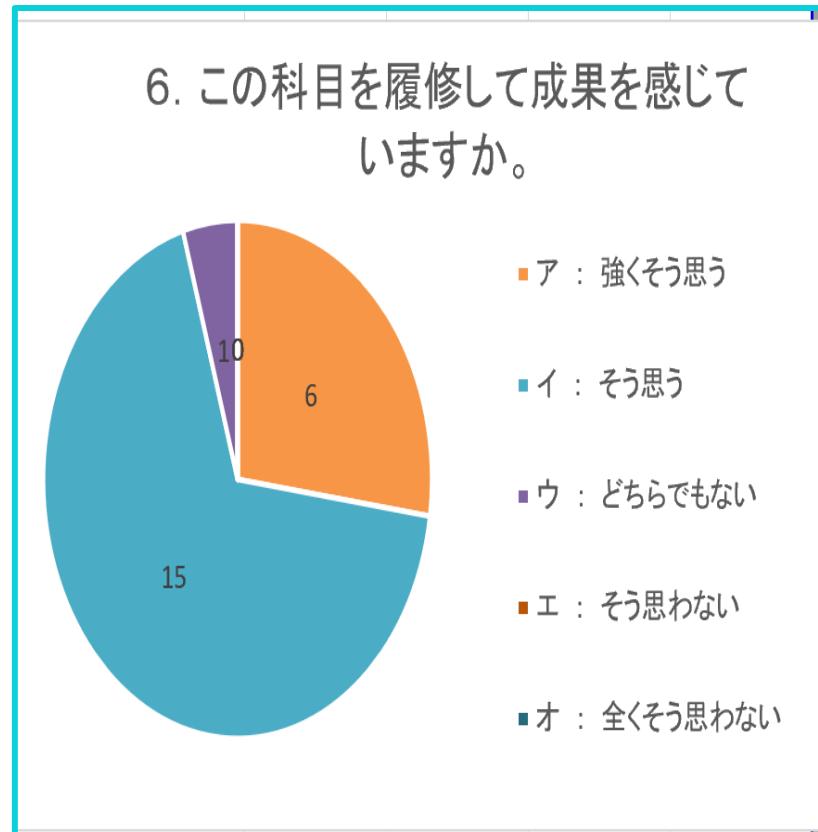
2019年度 前期

回答者数:のべ60人



2020年度 後期

回答者数:のべ22人



2019年アンケートの自由記述欄より (前期)

どのようなところが役に立つと思いますか？(約2/3の回答を提示)

- ・英語を読む力や専門的な単語が身につき、英語で書かれた論文などが読めるようになると思う(4人)
- ・英語で理系の内容について学べること(3人)
- ・理系の内容を英語で読むことは、将来、学者になると考えたら意味のある授業だと思う
- ・英語の記事を読むことで英語力が上がり、また世界が何に注目しているのか分かること
- ・科学関係の語彙力を鍛えることができる(7人)
- ・リスニング能力アップ(3人)
- ・英語のエッセイを書く力がつく(2人)
- ・英語でのコミュニケーション(3人)
- ・理系としての必要最低限の英語力がつくこと(2人)
- ・世界の科学者や研究所についてより深く知ることができる(5人)
- ・みんなが自分よりも英語うまくて、積極的なので頑張ろうと思える

## どのようなところが役に立つと思いますか？(約2/3の回答を提示)

- ・英語での論理的な文章の書き方
- ・英語の4技能におけるWritingを本格的に鍛える点
- ・英語での文章のまとめ方、つなぎ目のコツなどを学べるので英語で文章を書く際に役立つ
- ・パワーポイントの作り方、発表する際の順番などをどのような文章にするかなどまで幅広いスキルが学べる
- ・いろんな先生をお呼びして、その方々から研究のお話を聞くこと。体験談を直接聞くことで、単なる知識以外も学ぶことが出来る（3人）
  
- ・他大学の教授の過去の体験を知ることで、自分自身の将来を考えるきっかけになった（2人）
- ・世界各国の事情が日本人の視点で知ることが出来て海外で生活する際の手助けになると思う
- ・様々な分野に精通していらっしゃる方々から貴重なお話を伺うことが出来ること、個人での発表とグループでの発表を経験できること、レポートの添削をネイティブの先生に見ていただく機会を得られることが役立つ。

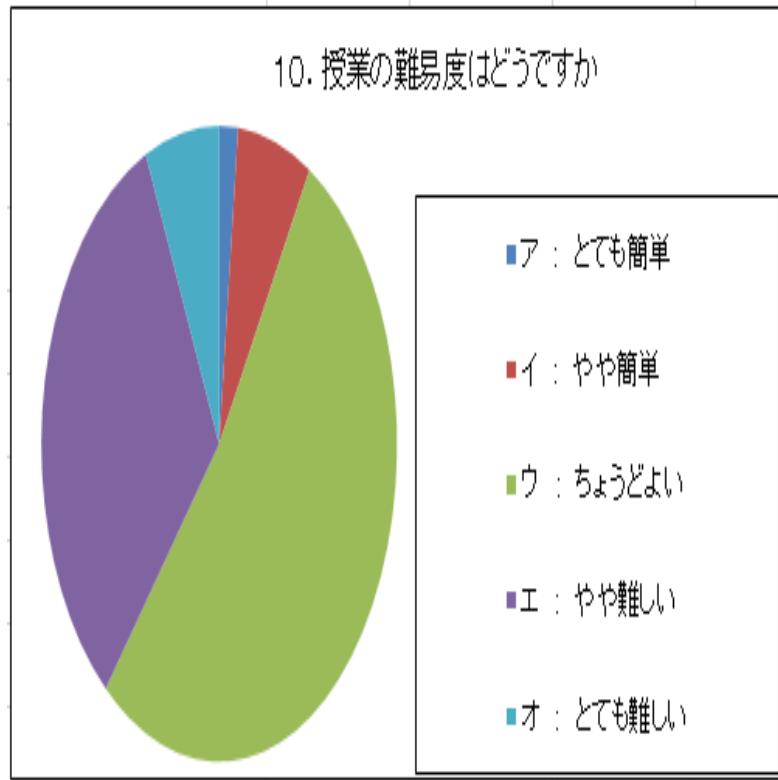
## 2019年度・2020年度 Dコースで学んだ皆さんの中の先輩たちのアンケート結果より 〈2020年:コロナ禍でアンケートの回収率が低下〉

2019年度 前期

回答者数:のべ59人

2020年度 後期

回答者数:のべ22人



## 2019年アンケートの自由記述欄より (前期)

今後の授業の改善のために、授業の難易度について具体的に書いてください(全回答を提示)

- ・ちょうど良い(3人)
- ・このままでよい
- ・単語も内容も簡単すぎず難しすぎない
- ・難しいと感じるけど、そのままで良いと思う
- ・個人的にはボキャブラリーが貧困だったので難しかった
- ・単語は難しいが文が読めれば理解はできるため、難易度はそれほど高くないと思う
- ・トピックはとても興味深いがビデオがかなり専門的だったのと、スピードが早かったのが難しかった
- ・文が難しいのでクイズに答える時間を本文理解に充てた方が良い
- ・文が多くて理解しきれない
- ・テスト(注:小テストのことです)の割合が大きい上に覚えないといけない単語が難しい。専門科目を勉強する時間が減ってしまいかなり大変です
- ・試験(注:小テストのことです)の範囲を狭くするか難易度を下げてほしい
- ・テストが全てだけど、テストが難しい
- ・テスト内容が自分の力にならない
- ・出席点を上げてほしい
- ・授業と成績に関連性がない
- ・特になし(2)

## 2020年アンケートの自由記述欄より (後期)

今後の授業の改善のために、授業の難易度について具体的に書いてください(約2/3の回答を提示)

- ・授業で扱う文章は、辞書を使わなくても内容がある程度理解できる。自分で文章を作成する場合も、トピックや字数制限のレベルがちょうどよいと思う(2人)
- ・作業や課題をするにあたってとても詳しく説明してもらえるのでちょうどいい(2人)
- ・授業の難易度はちょうどよく、少し理解するのに時間がかかる内容が少し含まれているくらいが、自分の英語力の向上に繋がると感じた。
- ・他大学の教授のお話を聞く機会が多かったが、わかりやすく説明されていたので、あまり難易度は高く感じることはなかった。
- ・難易度としては難しすぎず、簡単すぎず丁度良いものだと思われる(2人)
- ・そのままでいいと思います(3人)

2016年度に開設され、2021年度で6年目に入る  
「理系国際」(Dコース)です。

○質問がある場合には

どんな小さなことでも聞いてください。

- 1) **国際言語文化センター事務室(3号館1階)**へ直接問い合わせてください。
- 2) 次のアドレスへメールで質問してください。  
回答者:中村典子 : **noriko@konan-u.ac.jp**  
件名:Dコース (学部・氏名)



# THANK YOU FOR YOUR ATTENTION !

この動画のPDFは、**国際言語文化センターのポータルサイトの<お知らせ欄>**にもUPしてあります。

「**甲南 言語**」で検索してください。

[HTTPS://WWW.KONAN-U.AC.JP/KILC/](https://www.konan-u.ac.jp/kilc/)

